



牧みゆき

総務常任委員
阪神水道企業団議会議員

かの雅一

教育こども常任委員長

たかのしん

幹事長・議会運営委員長
教育こども常任委員

しぶや祐介

代表・議会運営委員
総務常任委員

草加ともきよ

建設常任委員

八木米太郎

民生常任委員

おおさこ純司郎

健康福祉常任委員長

代表・しぶや祐介が語る！現在の市政運営に抱く危機感

危機的な財政状況

石井市長の市長就任は平成30年(2018年)4月。就任初年度から赤字となり、翌年度には実質単年度収支で50億円以上の大赤字となりました。その後、令和2年度は外郭団体に対する貸付金の返還、令和3年度はコロナに伴う国からの交付金増といった臨時的な収入のおかげで黒字となりましたが、令和4～6年度の実質単年度収支は3年連続で大幅な赤字。石井市長の在任中は毎年、実質的な大幅赤字が続いています。このままでは数年以内に基金(=自治体の貯金)が底をつき、予算を編成できなくなる可能性さえあるというのが、本市の厳しい現状なのです。議会もこの状況を重く受け止め、令和7年度当初予算を反対多数で否決。当初予算が否決されたのは、今年100周年を迎えた西宮市政の歴史上、初めてのことです。

本市職員の給与制度が抱える構造的な問題にメスを入れました！

私は、本市職員の人件費の高さこそが、財政危機に陥った最大の原因だと考えています。全国的に地方自治体職員の給与が減少傾向にあった中、本市職員の平均給与は上昇し続け令和3年以降、3年連続で全国一の高さに。結果、本市職員の給与総額は年間240億円近く、人口50万人未満の中核市(=西宮市と同規模の自治体)の中では東大阪市の188億円を50億円近く引き離して、ダントツの高さとなっています。ところが、市は、高すぎる人件費を圧縮するための新たな取組を一切示そうとしません。こうした状況を是正するため、私は本年3月議会において国家公務員より高い給与水準にある事務職・技術職等の昇給を認めず、現在の金額に抑える内容の議案を提出、賛成多数で可決されました。これによって本市の給与制度が抱える構造的な問題に初めてメスが入りました。

危機感に欠ける石井市政にNO！

一方で、学校用務員やごみ収集員・給食調理員など、定型的業務に従事する技能労務職員の給与水準が類似都市の平均と比べて20%程度、国と比べて25%高いことや、これら職種を中心に、他市には存在しない(もしくはあっても遥かに金額が低い)手当が多く存在することは問題です。また外郭団体への天下りや、それに伴う市役所OBである高齢職員の長期在籍といった問題もあります。

私は、市民に多くの負担を求める以上、人件費の圧縮に代表される市役所内部の改革を徹底的に進めることは当然と考えていますが、市からそうした姿勢はうかがえません。危機感に欠ける市政運営を続け、西宮市を財政危機に陥らせた石井市政を終わらせない限り、こうした現状を変えることはできません。

代表 しぶや祐介 プロフィール

- 昭和48年(1973年)12月、西宮市生まれ。
- 善塔幼、浜脇小、浜脇中、明星高、京都大(経)卒。
- 平成8年(1996年)阪急電鉄株式会社入社。ブックファースト(書店)・アズナス(コンビニ)など、小売事業を中心にキャリアを積む。
- 平成16年(2004年)西宮市議会議員補欠選挙にて初当選。政党無所属、現在6期目。
- 初当選以来、「行動する政治」を掲げ、行政改革・子育て支援・高齢者福祉などの政策実現に取り組む。
- 年4回発行の市政報告チラシは82号、週2回更新のブログは2,500回以上を数えるなど、広報活動に注力。
- 平成23年(2015年)に「会派・ぜんしん」を結成し、幹事長を務める。
- 令和2年(2020年)第91代西宮市議会議員に就任。副議長、議会運営委員長、総務常任委員長、市民文教常任委員長、建設常任委員長を歴任。
- 伏原町自治会顧問、北口町自治会顧問、西宮市消防団団員(浜脇分団)。
- 妻・長男・次男・三男の五人家族。
- 座右の銘は「大道無門」「一利を興すは一害を除くに如かず」。

西宮市議会議員 しぶや祐介の活動日記
<https://ameblo.jp/shibuya1973/>



しぶや 祐介